令　和　６　年　度

福 岡 女 子 大 学 大 学 院
人間環境科学研究科　人間環境科学専攻
【博士後期課程】
案内

（付）令和６年度　福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科
人 間 環 境 科 学 専 攻 【 博 士 後 期 課 程 】
学　生　募　集　要　項
（一般選抜入試・社会人選抜入試・外国人留学生選抜入試）

公立大学法人
福岡女子大学
FUKUOKA WOMEN'S UNIVERSITY

〒813-8529　福岡市東区香住ヶ丘１丁目１番１号
電話　(092)661-2411（代表）
URL　http://www.fwu.ac.jp/

目　　次

１．福岡女子大学の沿革　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

２．福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科【博士後期課程】の
アドミッション・ポリシー　・・・　1

３．教育課程の編成　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

４．社会人の入学について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

５．長期履修制度　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

６．授業科目・・・　5

７．研究内容・・・　8

８．交通案内・・・　10

（付）令和６年度　福岡女子大学大学院
人間環境科学研究科 人間環境科学専攻【博士後期課程】学生募集要項

○　入学願書
○　受験票
○　研究希望調書
○　受験許可書
○　在職期間証明書
○　入学者選抜出願資格認定申請書
○　入学考査料振込金受付証明書貼付用紙
○　入学考査料振込依頼書

１．福岡女子大学の沿革

福岡女子大学の前身は、大正 12（1923）年にわが国最初の公立女子専門学校として設置された福岡県立女子専門学校（文科、家政科）である。昭和 25（1950）年、第二次世界大戦後の学制改革により 4 年制の大学に昇格し、福岡女子大学となった。当初は学芸学部（国文学科、英文学科、生活科学科）のみの単科大学として発足したが、昭和 29（1954）年に文学部（国文学科、英文学科）と家政学部（家政学科、家庭理学科）の 2 学部構成となった。

平成 5（1993）年に、大学院文学研究科修士課程（国文学専攻、英文学専攻）が開設され、平成 9（1997）年にはさらに英文学専攻の博士後期課程が設置された。一方家政学部は平成 7（1995）年に人間環境学部（環境理学科、栄養健康科学科、生活環境学科）に改組された後、平成 12（2000）年に、大学院人間環境学研究科修士課程（環境理学専攻、栄養健康科学専攻、生活環境学専攻）が設置された。

平成 18（2006）年より公立大学法人福岡女子大学となって、さらに大学改革が推進され、平成 23（2011）年には新たに、国際化、多様化する社会で幅広く活躍できる女性リーダーの育成を基本理念とする 1 学部 3 学科体制の国際文理学部（国際教養学科、環境科学科、食・健康学科）が設置された。この学部理念のもとに、既設の人間環境学研究科を充実・発展させた新たな専門教育機関として大学院人間環境科学研究科が平成 27（2015）年 4 月に開設された。

このように本学は開学以来の歴史と伝統を持ち、その間に送り出した卒業生・大学院修了生は各方面で活躍し、広く社会に貢献している。

２．福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科【博士後期課程】のアドミッション・ポリシー

本研究科は、生活科学・理学・工学・社会科学といった学問領域を統合化することによって、健康科学と環境科学及びその基盤である自然科学の観点から、「健康な生活を支える環境調和型社会づくり」を目指す「人間環境科学」の発展に寄与する。そのため、環境科学領域、栄養健康科学領域を設置し、高度な研究能力と知識を持ち、創造性に富む人材の育成を教育理念としている。

本研究科の学生には、教員と学生の距離が近い少人数教育の利点を生かして実験・実習・フィールドワークを自主的に実施し、大学院での学びを積極的に社会に還元することが求められる。

従って、学生には下記のような能力・意欲を期待する。

(1) 健康・環境分野に造詣が深く、自らを高める向上心に満ち、独創的で自立した研究・分析を行うことに対する強い意欲があること。
(2) 研究に対する高い倫理観を有し、真摯に取り組む自律した姿勢を持っていること。
(3) 化学や生物学等の自然科学の知識を豊富に有していること。
(4) 研究成果を健康な生活を支える環境調和型社会の実現のために社会に提案・還元する意欲と優れた実践能力を有すること。

領域ごとのアドミッション・ポリシーは以下のとおりである。

＜環境科学領域＞

「人間環境科学」が対象とする人（ヒト）をめぐる環境に関連した複雑で多岐にわたる現象を、自然科学を基に学際融合的に教育研究し、次世代を担う人材を養成する。また、生活するヒトの生理、心理、行動の特性を明らかにし、ヒトと環境の相互作用について研究教育を行う。

具体的には、分子・細胞・個体やそれらを結びつけるエネルギーや物質循環といった自然環境について、物質科学と生命科学の角度から実験・理論の研究及び教育を行う。さらには、都市・住居デザインの提案・設計、人間の心理・生理機能や行動様式の解析ならびにそれに基づく生活空間の設計、ユニバーサルデザインに基づいた都市・空間の評価と設計、環境変動に伴うヒトの行動様式などへの影響に関するデータ収集・分析を行う。

本領域では、特に自然科学分野に関心が深く、自らを高める向上心に満ち、かつ知的好奇心や創造性に富んだ人材を期待する。また、生活環境と人間に関わる現実的諸問題に関心が高いこと、研究成果を具体的なデザインとして社会に提案・還元する意欲を有する学生を求める。

＜栄養健康科学領域＞

栄養と健康に関する基礎研究から応用開発や臨床対応にいたる領域を対象とし、健全な食生活を構築するとともに、生活習慣病の成因や予防、食の安全性などの問題を解析、解決することを目的としている。そのため、食と栄養に関する高度専門職業人として、臨床栄養師、食品企業の研究者や開発者、教育機関における教育者・研究者を育成する。

本領域では健康、食品の品質、嗜好性、機能、安全性、代謝、疾病との関連など食を取りまく諸問題を栄養学、生化学、分子・細胞生物学、疫学などを用い、食品科学と栄養科学の両面から教育・研究を行う。学生には実験・調査等の研究活動に対し、積極的かつ主体的に取り組む姿勢を持つことを求める。

本領域では、特に食と健康との関連性やその探究について特に高い関心を持ち、諸問題の成因や解決に向けた研究への取り組みや、その成果を社会に提案・還元する意欲を有する学生を求める。

＜入学選抜の基本方針＞

・一般選抜入試・社会人選抜入試・外国人留学生選抜入試

入学者の選抜は、筆記試験（英語）・面接のほか書類審査の結果等によって総合的に判断して行う。

筆記試験では、研究を遂行する上で必要とされる語学能力及び表現力を評価する。面接では、当該分野の研究に対する熱意、希望する研究計画の妥当性、当該分野の研究に必要とされる学力や技能及びコミュニケーション・表現能力を基に総合的に評価する。

３．教育課程の編成　※以下は令和５年度の情報です

人間環境科学研究科 博士後期課程の教育課程では、高度な専門性を獲得するための教育に加えて、課題発見力、課題解決力や、俯瞰的な視野を養うための教育を実施する。この目的を達成するために、教育課程の編成において、専門科目や特殊研究科目の他に、基礎科目を設ける。

基礎科目（「キャリア・デザインとライフ・プラン」、「デザイン思考」、「リーダーシップ特別演習」、「研究の倫理と方法」）では、将来どの分野に進んでも重要となる自立した女性研究者としてのキャリア形成、また、課題設定、課題解決力や倫理観を醸成する。

専門科目では、幅広い視野を得るために、専門分野以外の学問分野について調査、発表する演習科目（「人間環境科学特殊演習」）、国内外の社会での実践で貢献できる人材育成を目指して、大学・公的機関・民間企業等での体験学習を実施するキャリア科目（「専門職特殊研修」）、卒業研究指導や学生実験指導の補助を行う研修科目（「人間環境科学特殊研修」）を設定している。これらの専門科目は全て選択科目とするが、より独創的な研究、社会との密接なつながりを意識させるとともに、さらに幅広い視野を養う機会であるので、学生に対しては積極的に受講することを指導する。

特殊研究科目においては、それぞれの領域の専門性を高めた環境科学特殊研究または栄養健康科学特殊研究を履修する。各領域における最先端研究の実践を通して、自立した研究者に必要な研究推進能力を鍛える。研究の過程で学術論文作成力や学会でのプレゼンテーション能力も磨く。

人間環境科学研究科 人間環境科学専攻 博士後期課程のカリキュラム編成

区分	授業科目	単位数	授業形態
基礎科目 （選択） 2 単位以上	キャリア･デザインとライフ･プラン	2	講義
	デザイン思考	2	演習
	リーダーシップ特別演習	2	演習
	研究の倫理と方法	2	講義
専門科目 （選択） 2 単位以上	人間環境科学特殊演習	2	演習
	専門職特殊研修	2	実験・実習
	人間環境科学特殊研修	2	演習
特殊研究科目 （必修） 12 単位	環境科学特殊研究Ⅰ	4	実験・実習
	環境科学特殊研究Ⅱ	4	実験・実習
	環境科学特殊研究Ⅲ	4	実験・実習
	栄養健康科学特殊研究Ⅰ	4	実験・実習
	栄養健康科学特殊研究Ⅱ	4	実験・実習
	栄養健康科学特殊研究Ⅲ	4	実験・実習

４．社会人の入学について

(1) 社会人の受け入れ

生涯学習の一環として、大学を卒業し企業、教育機関、官公庁、各種施設等で活躍している社会人が、さらに高度な学識や技術を修得するために大学院へ進学しようとする機運が高まっている。本研究科では、このような向学の志を抱く社会人に積極的に応えるために、下記の特例措置をはじめ種々の履修方法を準備している。

(2) 社会人のための特例措置について

教育方法の特例措置とは、現職教員、公務員、一般企業の社員、団体・施設の職員等の職を有する者、またはその他出産、介護等相当の事由があると認められる者が、夜間、土曜日または夏季・冬季休業期間中に本学授業を受講することができる措置のことである。

５．長期履修制度

意欲ある社会人の入学を促進するために、入学時における自らの計画と申告に基づき、標準修業年限を超える年限で課程を修了することを認める「長期履修制度」を導入している。なお、「出産、介護等相当の事由があると認められる者」についても、これを認めている。

本制度を利用することで、標準修業年限の授業料により、博士前期課程では修業期間を最長 4 年間まで延長して、必要単位を修得し修士の学位を取得、博士後期課程では最長 6 年間まで延長して、必要単位を修得し博士の学位を取得することが可能である。

６．授業科目　※以下は令和５年度の情報です

科目区分	授業科目の名称	担当教員	講義等の内容
基礎科目	キャリア・デザインとライフプラン	野依 智子	女性学やジェンダー的視点から、企業や大学等における女性労働の現状やキャリア構築のための課題ならびに男女平等やワーク・ライフ・バランスを保障する国内外の法制度等をとりあげ、男女共同参画社会における「女性のライフキャリア」の探求や設計に関する具体的課題や可能性について多面的に学ぶ。
	デザイン思考	品川 啓介	人間を取り巻く複合的課題に対し、総合的学識や技術により解決に導く実践力を身に着けるために、デザイン思考のプロセスである着想（inspiration）、アイディア化（ideation）、実現（implementation）を、リサーチやグループワークを通じて実践的に学ぶ。そして、イノベーションを実現する人材（イノベーター、innovator）の育成を目指す。
	リーダーシップ特別演習	平山 猛 (非常勤)	新しい何かを創造するためには、組織において互いの違いを生かしながら、新たなアイディアや価値観を生み出すことが重要である。安心して発信できる環境や場を作ること、それぞれが持つアイディアや思いを引き出すこと、人を巻き込み、その気にさせ、同じ思いを共有すること、そのようなリーダーシップが求められている。多様な意見の交換のなかから新たな発見や可能性、アイディアを見いだし、個々の知恵を創造的な成果に結びつけることを支援するファシリテーションの技術を、演習を通じて学び、身につける。
	研究の倫理と方法	下條 恵子 (非常勤)	研究活動とその成果である論文の適切な有り方が、国際的にも厳しく問われている。博士後期課程において研究に取り組むにあたって、遵守すべき研究の倫理とはなにか、また研究論文が満たすべき内容とそのための論文の作成の有り方について検討する。
専門科目	人間環境科学特殊演習	庄山 茂子 馬 昌珍 太田 雅規	自立した幅広い視野を備えた研究者を養成するには、学生自身が行っている研究以外に新しい分野の研究開発能力を身につけることが大切である。このための教育の一環として自己の研究と直接関係のない他分野からテーマを選択し、その総説の作成を行う。選択したテーマに関連する論文 10 報程度を読み、報告書およびその概要をまとめるとともに、複数の教員（特に指導教員グループ以外の教員）の前で発表し、テーマの選定、研究手法の理解、まとめ方について批評を受け 、それに的確に回答できることが必要である。

科目区分	授業科目の名称	担当教員	講義等の内容
専門科目	専門職特殊研修	奥村 文彦 吉村 利夫 豊貞 佳奈子	インターンシップとは、「学生が一定期間企業等の中で研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行える制度」である。この科目を修得する学生は、受け入れ先（企業、研究所など）での研修の中で、特定のプロジェクトに参加し、その中で実際に働くことを体験する。この体験のなかで、専門的知識を高めるとともに、プレゼンテーション能力、問題提起、問題解決能力、チームワーキングによる仕事の進め方を体得する。これらの体験を通し、自己の長所、短所を見つめ直し、自己鍛錬の機会とするとともに、将来の選択する職業に対する目的意識を育むことを目的とする。
	人間環境科学特殊研修	全教員	高度専門職業人や教育研究者に求められる資質を養うとともに責任感や倫理感、総合的に判断できる力、計画的に業務を遂行できるマネジメント能力を養うことを目的に、主指導教員の指導の下で、学部学生のカリキュラムにある実験・実習・演習の指導内容の企画・立案から積極的に参画し指導を行う。また、卒論研究についても適切な指導助言を行う。学部学生の実験・実習・演習においては２科目以上、卒論研究指導においては１年以上の指導を行う。
特殊研究科目	環境科学特殊研究Ⅰ	環境科学領域における博士論文指導教員	環境科学特殊研究では、独創性の高い先進的な研究や調査活動を行い、最終的に環境科学特殊研究Ⅲにおいて博士論文を完成させることを目的とする。 環境科学特殊研究Ⅰでは、その第一段階として、学生は指導教員の助言の下で、博士論文のテーマを選定して研究計画書を提出し、研究活動をスタートする。このテーマに関する関連分野の論文の講読と内容の発表を行う。また、研究の方向性を探索することを主目的に実験研究を行う。
	環境科学特殊研究Ⅱ	環境科学領域における博士論文指導教員	環境科学特殊研究では、独創性の高い先進的な研究や調査活動を行い、最終的に環境科学特殊研究Ⅲにおいて博士論文を完成させることを目的とする。 環境科学特殊研究 Ⅱでは、環境科学特殊研究Ⅰの最終段階で実施する研究中間報告会を受けて、研究の進捗状況を再確認し、必要に応じて軌道修正や研究計画の見直しを図る。研究計画に見直しを加えた上で、環境科学特殊研究Ⅰから進めてきた研究テーマをさらに進捗させる。環境科学特殊研究Ⅰの到達点を踏まえて、研究成果を取りまとめて、学会発表を行う。進捗状況に応じて、研究成果を論文に取りまとめる。

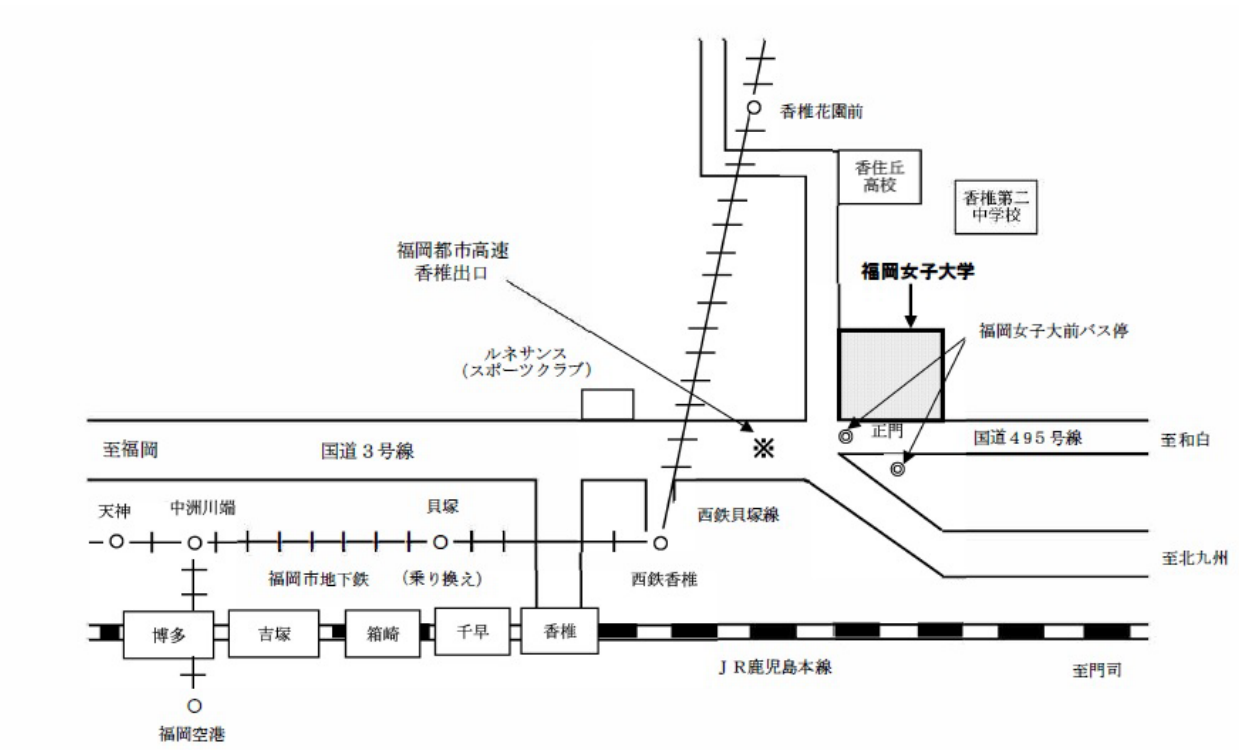
科目区分	授業科目の名称	担当教員	講義等の内容
特殊研究科目	環境科学特殊研究Ⅲ	環境科学領域における博士論文指導教員	環境科学特殊研究では、独創性の高い先進的な研究や調査活動を行い、最終的に環境科学特殊研究Ⅲにおいて博士論文を完成させることを目的とする。 環境科学特殊研究Ⅲでは、環境科学特殊研究Ⅱの研究成果を評価して、研究の方向性や仮説の妥当性について検証する。さらに問題点を洗い出して、問題点の解決のために必要な実験研究を実施する。一連の特別研究の集大成として、研究成果を博士論文としてまとめ結実させる。博士論文の作成と共に、研究成果を公聴会で発表することによって、広く第三者の評価を仰ぐ。
	栄養健康科学特殊研究Ⅰ	栄養健康科学領域における博士論文指導教員	栄養健康科学特殊研究では、独創性の高い先進的な研究や調査活動を行い、最終的に栄養健康科学特殊研究Ⅲにおいて博士論文を完成させることを目的とする。 栄養健康科学特殊研究Ⅰでは、その第一段階として、学生は指導教員の助言の下で、博士論文のテーマを選定して研究計画書を提出し、研究活動をスタートする。このテーマに関する関連分野の論文の講読と内容の発表を行う。また、研究の方向性を探索することを主目的に実験研究を行う。
	栄養健康科学特殊研究Ⅱ	栄養健康科学領域における博士論文指導教員	栄養健康科学特殊研究では、独創性の高い先進的な研究や調査活動を行い、最終的に栄養健康科学特殊研究Ⅲにおいて博士論文を完成させることを目的とする。 栄養健康科学特殊研究Ⅱでは、栄養健康科学特殊研究Ⅰの最終段階で実施する研究中間報告会を受けて、研究の進捗状況を再確認し、必要に応じて軌道修正や研究計画の見直しを図る。研究計画に見直しを加えた上で、栄養健康科学特殊研究Ⅰから進めてきた研究テーマをさらに進捗させる。栄養健康科学特殊研究Ⅰの到達点を踏まえて、研究成果を取りまとめて、学会発表を行う。進捗状況に応じて、研究成果を論文に取りまとめる。
	栄養健康科学特殊研究Ⅲ	栄養健康科学領域における博士論文指導教員	栄養健康科学特殊研究では、独創性の高い先進的な研究や調査活動を行い、最終的に栄養健康科学特殊研究Ⅲにおいて博士論文を完成させることを目的とする。 栄養健康科学特殊研究Ⅲでは、栄養健康科学特殊研究Ⅱの研究成果を評価して、研究の方向性や仮説の妥当性について検証する。さらに問題点を洗い出して、問題点の解決のために必要な実験研究を実施する。一連の特別研究の集大成として、研究成果を博士論文としてまとめ結実させる。博士論文の作成と共に、研究成果を公聴会で発表することによって、広く第三者の評価を仰ぐ。

７．研究内容

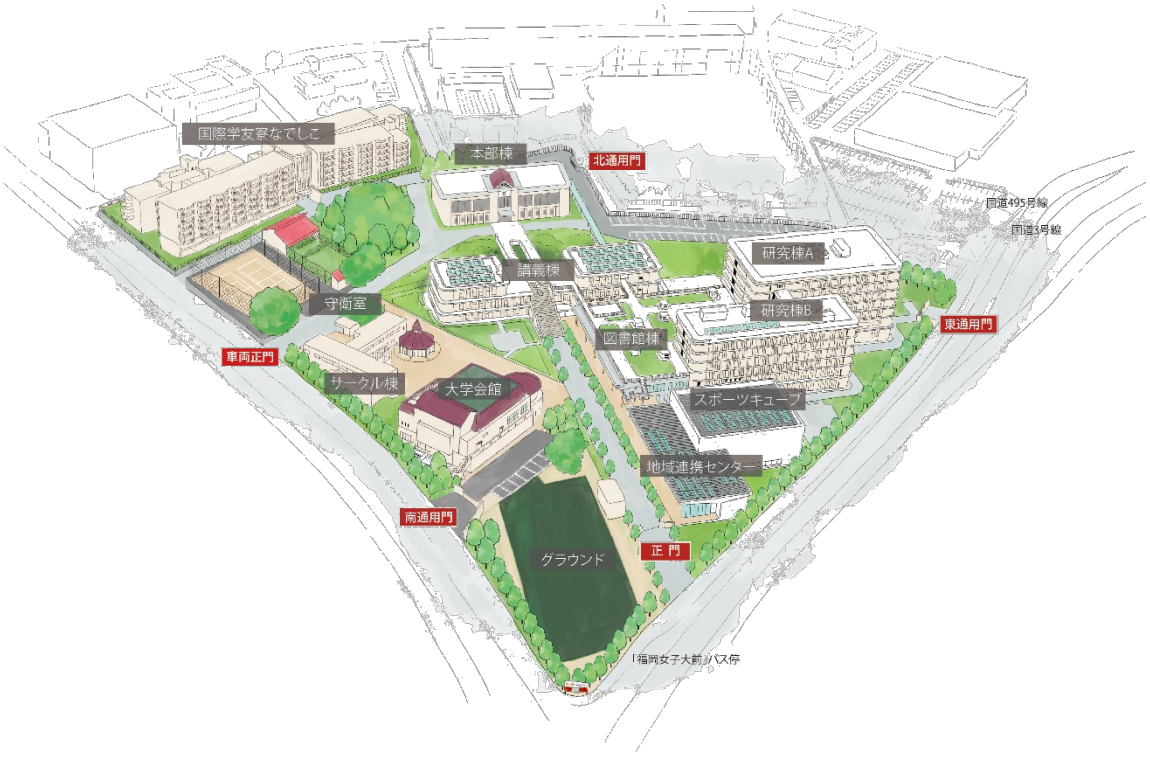
研究室		担当教員	主な研究内容
環境科学領域	物理化学	池田 宜弘	・界面活性剤の水／空気および水／油界面吸着の熱力学的研究 ・水溶液中における界面活性剤のミセル形成に関する研究 ・吸着膜やミセル中での２種の界面活性剤の混和性に関する研究
	高分子材料学	吉村 利夫	・環境調和型高分子材料に関する研究 ・高吸水性高分子材料に関する研究 ・セルロースの誘導体化に関する研究
	大気環境学	馬 昌珍	・生活環境における大気汚染に関する研究 ・地域及び地球規模の大気環境問題に関する研究 ・大気環境試料の超極微量元素分析に関する研究
	環境生物学	瀧下 清貴	・生物（主に真核微生物）の多様性・生態・進化に関する研究
	進化遺伝学	猪股 伸幸	・適応進化の遺伝基盤に関する研究 ・生物の系統地理学的研究
	神経生物学	松尾 亮太	・神経系の高次機能と可塑性に関する研究 ・神経系の頑健性に関する研究
	発生生物学	弓削 昌弘	・脊椎動物の初期発生の研究
	環境デザイン学	庄山 茂子	・生活環境における色彩情報が人の心理やユーザビリティに及ぼす影響 ・都市空間における景観色彩に関する研究
	環境政策学	辻 信一	・わが国の環境法の成立と発展に関する研究 ・わが国の公害対策および環境政策に関する研究 ・日本、米国、欧州における化学物質管理法の研究
	エコライフスタイル学	豊貞 佳奈子	・製品や生活行為の LCA（ライフサイクルアセスメント）に関する研究 ・生活行為由来環境負荷量の定量化研究 ・快適性に着目した住宅設備設計に関する研究
	環境衛生・計画学	小崎 智照	・健康的な環境条件に関する研究 ・環境因子による生理心理作用に関する研究 ・ヒトの生理心理特性の性差に関する研究
栄養健康科学領域	生体制御学	濱田 俊	・脳に作用する生体分子（ビタミン、神経ペプチドなど）の研究 ・味覚器の形成に関する研究 ・食品に含まれる神経毒の研究
	公衆衛生学	太田 雅規	・健康増進活動の効果等、人を対象とした介入研究 ・人における酸化ストレスについての研究 ・食と労働適応能力についての研究

研究室		担当教員	主な研究内容
栄養健康科学領域	食料経済学	新開 章司	・食料の生産・流通・消費（フードシステム）に関する研究 ・食料のマーケティングに関する研究 ・農業経営に関する研究 ・地域振興や地域ブランドに関する研究
	調理科学	舟木 淳子	・調理・加工に酵素処理等を適用することによる食品物性改変に関する研究
	食品学	石川 洋哉	・「おいしさ」と「健康維持」に関わる食品機能の評価・解析 ・天然物・食品成分の抗酸化活性評価に関する研究 ・食品の「香り」評価に関する研究 ・新規低温抽出技術を活用した新たな食品の開発
	公衆栄養学	南里 明子	・生活習慣病（糖尿病やうつなど）に関する栄養疫学研究 ・月経関連障害に関する栄養疫学研究
	生物化学	奥村 文彦	・選択的タンパク質分解と付随する疾病に関する研究 ・酵素活性の制御に関する研究

８．交通案内



【福岡女子大学 キャンパス図】



（付）令和６年度 福岡女子大学大学院　人間環境科学研究科
人間環境科学専攻【博士後期課程】
学生募集要項
（一般選抜入試・社会人選抜入試・外国人留学生選抜入試）

１．募集人員

専攻	募集人員（夏季試験・春季試験 合計） 一般選抜入試・社会人選抜入試・外国人留学生選抜入試
人間環境科学	合計 3 名

２．出願資格

(1) 一般選抜入試

次の各号の一に該当する女子が出願できる。

① 修士の学位や専門職学位を有する者（学校教育法第 102 条第 1 項）及び入学時までに取得見込みの者

② 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者（学校教育法施行規則第 156 条第 1 号）又は入学時までに学位を授与される見込みの者

③ 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（学校教育法施行規則第 156 条第 2 号）及び入学時までに学位を授与される見込みの者

④ 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者（学校教育法施行規則第 156 条第 3 号）及び入学時までに学位を授与される見込みの者

⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者(学校教育法施行規則第 156 条第 4 号）及び入学時までに学位を授与される見込みの者

⑥ 文部科学大臣の指定した者（学校教育法施行規則第 156 条第 6 号）

⑦ 大学院において個別の入学資格審査により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時までに 24 歳に達する者（学校教育法施行規則第 156 条第 7 号）

※ 上記⑦の出願資格で出願する者は事前審査を行うので、14 ページの「出願資格の事前審査について」を参照すること。

(2) 社会人選抜入試

入学時において、大学院修士課程修了後、社会人として 3 年以上の経験を有する女子※で、上記(1)の①～⑦のいずれかの出願資格を有する者。

※ 社会人とは以下の者を含む。

・ 家事従事の期間は社会人経験にあたる。

・ 海外・国内研修の期間は社会人経験にあたる。

(3) 外国人留学生選抜入試

日本の国籍を有しない女子で、次の各号の一に該当する者が出願できる。

① 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者（学校教育法施行規則第 156 条第 1 号）及び入学時までに授与される見込みの者

② 外国人留学生として日本の大学院において修士の学位や専門職学位を授与された者及び入学時までに授与される見込みの者

③ 文部科学大臣の指定した者（学校教育法施行規則第 156 条第 6 号）

④ 大学院において個別の入学資格審査により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時までに 24 歳に達する者（学校教育法施行規則第 156 条第 7 号）

３．試験日

夏季試験　　令和 5 年 8 月 5 日（土）

春季試験　　令和 6 年 2 月 10 日（土）

４．試験場

福岡女子大学

５．試験日程・試験科目

人間環境科学専攻		
試験区分	筆記試験 10：00～11：30（90 分）	口頭試問 13：00～
一般選抜入試	英語 （辞書持込可・ ただし電子辞書は不可）	これまでの研究成果や今後の研究に関する計画などについて 冒頭の 10 分間で自作パワーポイント等を使用してプレゼンテーションを行う。 （社会人選抜入試については、業務歴を含む）
社会人選抜入試		
外国人留学生選抜入試		

６．出願期間

夏季試験　　令和 5 年 7 月 10 日（月）～ 7 月 14 日（金）17 時まで必着

春季試験　　令和 6 年 1 月 10 日（水）～ 1 月 17 日（水）17 時まで必着

７．出願手続き

入学志願者は、次の書類を「６．出願期間」の期間内に、本学アドミッションセンターに提出すること。

出願書類を郵送するときは、必ず 書留速達 とし、封筒表面に「大学院 人間環境科学研究科 人間環境科学専攻 博士後期課程 入学願書」と朱書きすること。

なお、提出された出願書類及び納入金は原則として返還しない。また、出願書類に不備があるものは、受理しない。**（該当書類が英語以外の外国語表記の場合、必ず和訳文または英訳文を添付すること）**

(1) 入学願書及び受験票

本募集要項にある「福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科 入学願書（博士後期課程)」及び「福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科 入試受験票（博士後期課程)」を使用すること。

(2) 研究希望調書

本募集要項にある「研究希望調書」を使用すること。

なお、研究希望調書の作成にあたっては、志願者の希望する本学研究室の担当教員と事前に協議すること。

協議に当たっては、まず福岡女子大学アドミッションセンター（電話 092-692-3100）に連絡をし、本募集要項 8 ページ「研究内容」一覧表に掲載している研究室担当教員名を告げること。

ただし、電話を受け付けるのは、**土・日・祝日以外の 9 時から 16 時まで**とする。

(3) 成績証明書

出身大学院の学籍原簿の写し又はそれに相当する単位取得を証明するもの**（要厳封)**。

(4) 最終大学院の修了証明書もしくは見込証明書

(5) 修士論文

修士論文以外の研究成果物がある場合は、それも併せて提出すること。修了見込みの者は、修士論文にかわるものを提出すること。いずれもコピー可。ただし、原則として返却しない。

(6) 入学考査料

入学考査料は 30,000 円。

納入方法は、銀行窓口での振込「電信扱」に限る。納入後は、原則として返還しない。本募集要項最終ページの「入学考査料振込依頼書」を切り離し、太枠で囲まれている記入欄に必要事項をすべて黒ボールペンで正確・明瞭に記入し、A・B・C 票を切り離さず銀行へ持参すること。ただし、振込手数料は志願者負担。

振込の後、銀行窓口で返還された B・C 票のうち、C 票(「福岡女子大学(大学院)」入学考査料 振込金受付証明書)を、「入学考査料振込金受付証明書貼付用紙」に貼り付けること。

(7) 写真（2 枚）

たて 4cm×よこ 3cm、正面上半身、無帽、無背景、出願期間以前 3 ヶ月以内に撮影したもの 2 枚を、「(1)入学願書及び受験票」にそれぞれ貼付すること。

(8) 受験票返送用封筒

返信用封筒(長形 3 号 120mm×235mm)に宛先を明記し、84 円切手を貼付すること。

(9) 受験許可書（会社及び官公庁・教育機関等に勤務している者で、現職のまま入学しようとする者のみ）

本募集要項にある「受験許可書」を使用すること。

会社及び官公庁・教育機関等に勤務している者で現職のまま入学しようとする者は、本学大学院の受験について所属長の許可書を提出すること。

(10) 在職期間証明書（社会人選抜入試に出願する者のうち、提出できる者のみ）

本募集要項にある「在職期間証明書」を使用すること。

○ 障害がある入学志願者の事前相談

障害がある入学志願者で、受験上および就学上の配慮を必要とする者は、相談に応じるので、事前にアドミッションセンター（電話 092-692-3100）に相談すること。

○ 出願資格の事前審査について

「２．出願資格(1)⑦または(3)④」により出願しようとする者について、「修士の学位を有する者と同等以上の学力」の認定は、次により行う。なお、必要がある場合は面接を行う。

① 提出書類

書類等	摘要
ア　入学者選抜出願資格認定申請書	本募集要項にある「入学者選抜出願資格認定申請書」を使用すること
イ　「７．出願手続き」に定める書類（但し入学考査料を除く）	本募集要項の「７．出願手続き」に定める書類（入学考査料は提出しないこと）

ア及びイは、一括して提出すること。なお、郵送する場合は必ず書留速達とし、封筒表面に「出願書類及び出願資格認定申請書在中」と朱書きする。

② 提出期間

夏季試験　　令和５年 ６月５日（月）～ ６月８日（木）17 時まで

春季試験　　令和５年 12 月４日（月）～ 12 月８日（金）17 時まで

③ 認定結果の通知

認定結果は、次の期日までに本人に郵便または電話で通知する。

夏季試験　　令和５年 ６月 15 日（木）17 時まで

春季試験　　令和５年 12 月 22 日（金）17 時まで

※ 認定された者は、「６．出願期間」の期間内に「７．出願手続き(6)入学考査料」に記載する方法により入学考査料を納入すること。

納入後は、C 票(「福岡女子大学(大学院)」入学考査料 振込金受付証明書)を、「入学考査料振込金受付証明書貼付用紙」に貼り付け、「６．出願期間」の期間内に本学アドミッションセンターに提出すること。

８．合格発表

合格者の発表は、次のとおりである。

夏季試験　　令和５年８月 10 日（木）

春季試験　　令和６年２月 16 日（金）

合格者には本人あてに郵送で通知する。 なお、合格発表日の 10 時頃、車両正門横の掲示板及び本学のウェブサイトにおいても合格者の受験番号を掲載する。ただし、公式の合格発表については、必ず本学掲示板又は合格通知書で確認すること。電話による合否の問い合わせは一切受け付けない。

９．入学手続

(1) 入学手続期間

夏季試験 合格者　　令和６年２月 19 日（月）～ ２月 26 日（月）17 時まで

春季試験 合格者　　令和６年２月 19 日（月）～ ２月 26 日（月）17 時まで

郵送の場合は、必ず書留速達とすること。

持参の場合は、受付時間は９時から 17 時までとする。土・日・祝日は行わない。

上記期間中に手続きを完了しない場合、入学を辞退したものとして取り扱う。

(2) 提出書類

ア．誓約書　本研究科所定のもの。合格通知書と同封して郵送する。

イ．住民票　外国人留学生については、市町村長が発行する在留資格及び在留期間を明記したもの。
出願者以外の世帯員については証明不要。

ウ．外国人で入学許可が出国の要件となっている国外在住者については、外務省在外公館又は日本国政府の承認した外国政府その他の発行する留学資格証明書・紹介状・推薦書等。

エ．その他必要書類等は、合格通知とともに通知する。

(3) 納入金（令和５年度実績）

入学料　　県内の者　282,000 円
　　県外の者　520,000 円

授業料　　前期分　　267,900 円（年額 535,800 円）

※ 入学手続きでは入学料のみ納入。

※ 入学料について「県内の者」とは、次の各号に掲げる者をいう。

（ア）入学しようとする者の生計の主たる維持者が入学しようとする年の前年の３月１日から入学許可の日まで引き続き福岡県内に居住している者

（イ）入学しようとする者の生計の主たる維持者が勤務等の事由により県外居住者であっても、入学者を含む家族の大半が(ア)に掲げる期間中福岡県内に居住している者

「県外の者」とは、上記以外の者をいう。

※ 在学中に授業料の額の改定が行われた場合には、改定後の授業料の額が適用される。

※ 福岡女子大学大学院博士前期課程修了後、引き続き本学博士後期課程に進学する場合は入学料は徴収し

ない。ただし、他大学院修士課程（博士前期課程）からの入学者及び本学大学院修士課程（博士前期課程）修了後１年以上経過してからの入学者については、入学料を徴収する。

※ 令和５年７月７日からの大雨により被災した福岡女子大学志願者の入学料及び入学考査料について免除措置を実施する。詳しくは本学ウェブサイトを確認すること。
http://www.fwu.ac.jp/exam_info/2024/

(4) 入学手続場所

福岡女子大学 アドミッションセンター　〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘１丁目１番１号
TEL：092-692-3100　E-mail：nyushi-qa@fwu.ac.jp

(5) その他不明な点は、下記まで問い合わせること

福岡女子大学 アドミッションセンター　〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘１丁目１番１号
TEL：092-692-3100　E-mail：nyushi-qa@fwu.ac.jp

◎ 外国人留学生への支援制度（令和５年度実績）

外国人留学生として本学大学院に入学した者（県外の者に限る）には、その入学時の成績等により、入学料が半額となる制度及び、入学後の研究計画書の内容と面接により、授業料が半額となる制度ある（ただし、制度を利用できる人数には限りがある）。

また、本学に設置されている学生寮に入寮することもできる（ただし、入寮できる人数には限りがある）。

◎ 試験結果の開示

試験結果を本人に限り、本学アドミッションセンターにおいて開示する。期間は、次のとおりである。

夏季試験　令和５年８月 28 日（月）～ ９月８日（金）
春季試験　令和６年４月　１日（月）～ ４月 12 日（金）

ただし、9 時から 17 時まで（正午から 13 時までは昼休み）で、土・日・祝日は開示を行わない。
開示を申請する際には、本学大学院入試の受験票を持参すること。

令和６年度 人間環境科学研究科【博士後期課程】入試スケジュール

入試区分	事前審査	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
夏季試験	令和５年 6/5(月)～6/8(木) 17 時まで 【本人通知】 令和５年 6/15(木)	令和５年 7/10(月)～7/14(金) 17 時まで	令和５年 8/5(土)	令和５年 8/10(木)	令和６年 2/19(月)～2/26(月) 17 時まで
春季試験	令和５年 12/4(月)～12/8(金) 17 時まで 【本人通知】 令和５年 12/22(金)	令和６年 1/10(水)～1/17(水) 17 時まで	令和６年 2/10(土)	令和６年 2/16(金)	

令和６年度 入学試験用

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科入学願書【博士後期課程】

Application for Admission to the Graduate School of Health and Environmental Sciences (Doctor's Program)

志望専攻名 Desired major	人間環境科学専攻 Doctor's Program for Health and Environmental Sciences		
選抜の区分 Category of selection （いずれかを〇で囲むこと。） Circle the Category	一般選抜入試　General Admission 社会人選抜入試　Admission for Working Applicants 外国人留学生選抜入試　Foreign Students Admission		
試験日 Test Date （いずれかを〇で囲むこと。） Circle one	夏季試験 Summer Test (2023年8月5日(土))	春季試験 Spring Test (2024年2月10日(土))	
フリガナ 氏名 Name		受験番号	※記入しないこと。Office use only.
生年月日 Date of birth	昭和　・　平成　　年(西暦　　年)　　月　　日（満　　歳）		
現住所 Present address	〒 電話(Phone)（　　）　　―　　Email:		
保証人 Guarantor （続柄） (Relationship)	氏名(Name) （　　）	住所(Address)　〒 電話(Phone)（　　）　　―	
年　月 Year・Month	履歴事項(高等学校卒業から記入すること。職歴を含む。外国人留学生については小学校から記入。) Curriculum Vitae (Starting with Elementary School)		
・		写真貼付欄 Photo 写真はたて4cm、よこ3cmの大きさ正面上半身無帽無背景で出願前3ヶ月以内に撮影したもの 3cm×4cm in size and taken within 3 months.	
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
合格通知の受信場所 Address for notification of the application results	〒		

令和6年度 入学試験用

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科入試**受験票**【博士後期課程】

Admission Slip for Examination

<table>
<tr><td>志望専攻名
Desired major</td><td colspan="2">人間環境科学専攻
Doctor’s Program for Health and Environmental Sciences</td></tr>
<tr><td>選抜の区分
Category of selection
（いずれかを〇で囲むこと。）
Circle the Category</td><td colspan="2">一般選抜入試　General Admissiion
社会人選抜入試　Admission for Working Applicants
外国人留学生選抜入試　Foreign Students Admission</td></tr>
<tr><td>試　験　日
Test Date
（いずれかを〇で囲むこと。）
Circle the Date</td><td>夏　季　試　験
Summer　Test
(2023年8月5日(土))</td><td>春　季　試　験
Spring　Test
(2024年2月10日(土))</td></tr>
<tr><td>フ　リ　ガ　ナ</td><td></td><td rowspan="3">写真貼付欄
Photo
写真はたて4cm、よこ3cmの大きさ
正面上半身無帽無背景で出願前3ヶ月以内に撮影したもの
3cm×4cm in size and taken within 3 months.</td></tr>
<tr><td>氏　　名
Name</td><td></td></tr>
<tr><td>受　験　番　号
Examinee No.</td><td>※記入しないこと。
Office use only.</td></tr>
</table>

研究希望調書

Statement of Prospective Graduate Student Research Agenda

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科

人間環境科学専攻博士後期課程

氏名 Name			受験番号 Examinee　No.	※
志望領域 Desired Field		志望研究室 Desired Area of Research(lab.)		

志望の動機（これまでに行って来た研究等の内容についても記載して下さい。）

Motivation(Describe Your Previous Academic Projects.)

研究希望課題 Planned research topic	

希望する研究の内容　Prospective Research Agenda

○※の[受験番号]の欄は記入しないこと。　Leave Blank.

受 験 許 可 書

福 岡 女 子 大 学 長　殿

受験者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生 年 月 日＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

上記の者が、令和6年度福岡女子大学大学院人間環境科学研究科人間環境科学専攻博士後期課程の入学試験を受験することを許可します。

西暦　　年　　月　　日
（令和　　年）

所属機関等住所及び電話番号

〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所属機関等名

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所属長名

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

在 職 期 間 証 明 書

Certificate of Professional Career/Employment

現　住　所　〒　　－
Present Address

_____

受験者氏名
Name of Applicant _____

Month_____月　Date_____日/ Year _____年

所属機関名（事業所名） Name of Insititution/Company	
職　　種 Position of Applicant	
在職期間　又は　在職した期間 Period in employment	自　月　日　年 Since　Month_____Date _____/Year _____　～ 至　月　日　年 Until　Month_____Date _____/Year _____

住所（所在地）〒　　－
Address of Institution/Company

_____

_____

勤 務 先 名
Name of Institution/Company or Employer _____

職　　名
Ｐｏｓｉｔｉｏｎ _____

氏　　名
Name(Signature) _____ ㊞

入学者選抜出願資格認定申請書

Application Form for Applicant's Eligibility

福岡女子大学長　殿

令和6年度福岡女子大学大学院　人間環境科学研究科博士後期課程に出願したいので、事前審査をお願いします。

Month＿＿＿＿月　Date＿＿＿＿日／　Year ＿＿＿＿＿年
（令和　　年）

氏　名
Name

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

住　所
Address

〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

最終修了(卒業)機関名
Last Academic Background

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

修了（卒業）年月日
Date of Completion

Month＿＿＿＿月　Date＿＿＿＿日／　Year ＿＿＿＿＿年

入学考査料振込金受付証明書貼付用紙

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科
人間環境科学専攻博士後期課程

入学考査料振込金受付
証明書貼付欄

切り取り

A票

振込依頼書

（「福岡女子大学（大学院）」入学考査料）

ご依頼日	科目	
年　月　日	電信扱	手数料　円

振込先	福岡銀行　香椎支店	金額	百万 千 3 0 0 0 0 円
受取人	預金種別：普　通　／　口座番号：2732681		
	（フリガナ）フクオカジョシダイガク		
	（おなまえ）福岡女子大学		
依頼人（志願者）	（フリガナ）		
	（氏　名）		
	（おところ）　（電話）		

出納印

※ 【取扱金融機関へのお願い】
1．収納印はA・B・C票の３ヶ所にもれなく押印してください。
2．B・C票は、必ず依頼人へお返しください。
3．振込手数料は、依頼人に負担していただくことになります。

（取扱金融機関保管）

（金融機関で切り離してください。）

B票

振込金受取書

「福岡女子大学（大学院）」入学考査料

	年　月　日
金額	百万 千 3 0 0 0 0 円
振込先	福岡銀行　香椎支店
受取人	フクオカジョシダイガク 福岡女子大学
志願者氏名	（フリガナ）
	手数料

出納印

（志願者保管）

（振込後C票は切り離しのうえ、指定された貼付欄に貼りつけてください）

C票

「福岡女子大学（大学院）」入学考査料

振込金受付証明書

	年　月　日
金額	百万 千 3 0 0 0 0 円
振込先	福岡銀行　香椎支店
受取人	フクオカジョシダイガク 福岡女子大学
志願者氏名	（フリガナ）

出納印

（入学考査料振込金受付証明書貼付用）